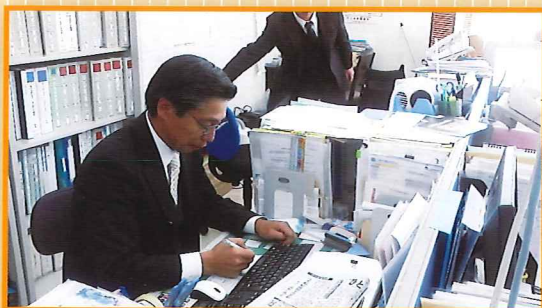


小島信一プロフィール

昭和31年 9月13日生まれ(58歳)
下館第一高等学校卒業
早稲田大学理工学部卒業
沖電気工業㈱入社

昭和61年 消防団入団(11年勤続)
平成10年 行政書士事務所を開設
同年 同友クラブに入会、現在監事

平成23年 筑西市議会議員当選 1期
平成26年 総務企画委員会副委員長



政治姿勢

毎議会、市民目線で一般質問に立ち、その内容を市民に議会報告として届けてきました。これが議員の仕事と心得ています。常に是々非々、これが私の政治姿勢です。

地方創生を考えよう。

筑西市の第一の課題は人口減少対策です。毎年1000人近く減少していますが、筑西市の減少率は0.8%、茨城県全体の2倍、全国の実に4倍の高さです。筑西市の減少率は突出しており、このままでは衰退は免れません。データでは若い世代が都市部へ移住しています。その原因を知ることが地方創生の第一歩。若い世代にとって魅力のある都市への総合戦略が必要です。



ホームページもご覧ください

<http://www.ojima-shinichi.com/>



事務所案内

筑西市下野殿801-1
小島行政書士事務所となり
TEL 0296-24-8951
FAX 0296-25-4627
メールアドレス
seishosi-ojima@agate.plala.or.jp

私たちの筑西市



地方創生を確かなものへ



お じ ま し ん い ち
市議会議員 小島信一

市民を守る救急医療体制の推進



筑西市には産婦人科を含め 恵まれた1次医療体制があります。これをアピールすることも重要です。しかし救急医療は未整備です。新中核病院、ドクターヘリを使った医療連携、筑西市に必要な救急医療体制の確立を目指します。



均整のとれた幹線沿道開発



50号バイパス笹塚付近

地方中核都市としての産業基盤が必要です。そのためには企業誘致、新市街地の創出が必要です。現在完成しつつある幹線道の沿線の開発に活路を見出すべきです。平坦で自然災害の少ない土地柄は、都市間競争を強いられる今後の武器となりえます。

筑西市を農業先進地に



筑西そばの大圃場

広大で肥沃な農地に恵まれたこの地は大規模農業の可能性十分です。また従来にない新しい農業に挑戦している農業法人も誕生しています。これを支援し、農業先進地を目指せば雇用の創出にもつながります。

義務教育と子育てに手厚い予算



小規模校では十分な設備や課外活動に制限があります。学校の適正配置により他市・他県に負けない教育施設にすることが必要です。また、今後小中一貫教育が導入されますが、地域にあった特徴ある一貫教育を目指すべきです。

愛郷心を育む教育



小栗の内外宮



板谷波山記念館

筑西市の歴史は古く、旧下館は10世紀の平将門の乱の舞台であり、戦国武将水谷氏が居城を構えていました。その後江戸時代を通し明治まで下館城があり、さらに新治地区の郡衙跡は7世紀、関城跡は14世紀の南北朝動乱の遺跡です。

また板谷波山先生、森田茂先生の二人の文化勲章受章者を始めとして多くの文化人を輩出しています。このような郷土の歴史と誇りを教育に取り入れることで、愛郷心を育む事が出来ます。歴史・伝統と先進学問のバランスのとれた人材が地域振興を目指し活躍してくれることが期待できます。